



HPはこちら

# 東日本ユニオン NEWS

JR東日本労働組合  
発責 情報・宣伝部  
2023年5月28日 No.615

## 2023年度夏季手当シリーズ⑥

### 東日本ユニオンへ寄せられたJR労働者の声 Part 1

- ★去年より景気は良いので出せると思う。夏季手当は3.0ヶ月、出すべきです。結婚したばかりでお金がかかるので、ぜひ要求を実現して欲しいです。(関東)
- ★これまでの「会社施策の進め方」や「春闘での回答」に憤りを感じる。基本給が抑えられているので、一時金はしっかりと出すべきです。(信越)
- ★やっと黒字に転換させたのでボーナスは上げるべきです。年間6ヶ月以上は欲しいです。交渉、頑張ってください。エルダーも単価が低いが同じ月数なので、なるべく多く欲しいです。(関東)
- ★会社は「コロナ前に戻らない」と言っているが乗車率も8割を超え、お客さまが戻ってきている。ボーナスも戻して欲しい。家を建てたばかりで経済的にきつい。年間6ヶ月以上あれば安心できます。(東北)
- ★手当が全然足りていない。「光熱費」「食費」など家計は火の車です。会社は「第二基本給」も廃止しないで、内部留保を貯め込んでいる。社員は、業務量が増え「給料は上がらない」では納得ができません。(信越)
- ★黒字化を実現して全社員に還元して喜ぶべきだ。苦労した分、しっかり還元しないと社員が離れていってしまう。会社の将来を考えて満額回答を出すべきです！(関東)
- ★3.0ヶ月でも少ないと感じた。2021春闘で2係数削られた分が大きい。若い人は、もっと関心をもつべきだと思う。夏・冬合わせてコロナ前の水準に戻して欲しい。仕事もきつくなり賃金が下がったら大変。係数で削られた分を返して欲しい。こうやって、社員の声を聞いてくれるのは東日本ユニオンだけです。(信越)
- ★東日本ユニオンの3.0ヶ月の要求は、社員が欲しがらる数字だと思います。自分ももう少し欲しいと思う。交渉頑張ってください。(関東)
- ★黒字化は実現した。収益はコロナ前には届いていないが、社員にも生活がある。春闘のベースアップが少なかったため、ボーナスは年間6ヶ月以上もらっていた水準に戻すべきです。(信越)
- ★子供の学費があまりにも多い。ボーナスが頼り、貯金もしたいので3.0ヶ月の要求を勝ち取って欲しいです。(関東)
- ★会社は、業績が悪くても設備投資を一生懸命している。この間、黒字化や施策に努力した社員に、もっと投資をするべきだ。夏季手当で還元がなければ、社員はモチベーションが上がりにません。(関東)